

六中 図書館だより



令和6年5月2日
新座市第六中学校
校長 影山 葉子
図書整理員 保坂 千恵子

4月に新学期が始まって、もうすぐ1ヶ月が経とうとしています。中学生としての新しい生活やクラスにも慣れてきたころでしょうか。

先月の18日に図書室の利用が可能になりました。1年生も、図書室に足を運んでくれています。たくさん図書室を利用して、多くの本と出会ってください。

「新しい本、入ってないの?」という声が聞かれましたが、残念ながら今は昨年度のままです。6・7月頃には新着図書が準備できればよいなと思っています。最初は、課題図書です。準備ができたからお知らせします。

今月も、ルールを守って、みんなが気持ちよく利用できるように、ご協力よろしくお願いします。



今月の図書室カレンダー



下段は、カウンターの当番クラスです。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			○ 2-3	○ 2-4	憲法記念日	みどりの日
5	6	7	8	9	10	11
こどもの日	振替休日	○ 2-5	○ 2-6	○ 1-1	○ 1-2	
12	13	14	15	16	17	18
	×	○	○	○	○	
	休館日	1-3	1-4	1-5	1-6	
19	20	21	22	23	24	25
	○	○	○	○	○	
	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	
26	27	28	29	30	31	
	○	○	○	×	×	
	2-6	3-1	3-2	休館日	休館日	



4月の委員会で、図書委員さんが学級文庫を選んでくれました。朝読書の時など、たくさん活用してくださいね。



図書整理員の
おすすめの本

『夜間中学へようこそ』

山本悦子//著



「夜間中学」を知っていますか？

夜間中学とは、公立の中学校の夜間学級のことをいいます。戦後の混乱期の中で義務教育を修了できなかった人や、様々な理由から本国で義務教育を修了せずに日本で生活を始めることになった外国籍の人など、多様な背景を持った人たちが一生懸命学んでいます。

『夜間中学へようこそ』は、4月から中学生になる優菜のおばあちゃんが「夜間中学に行く」と宣言するところから始まります。夜間中学への入学を渋る息子であるお父さんをなんとか説き伏せて、イキイキと通い始めました。ですが、学校から帰る途中で転んでしまいます。

おばあちゃんの付き添いで一緒に通うことになった孫の優菜の前に、個性的なおばあちゃんのクラスメイトが次々現れ、新しい世界が広がります。どうして勉強するのか、なぜ学校へ行くのか。多感な中学生の目を通して、見たものとは何でしょう。夜間中学を舞台にした感動の物語です。

2024年 本屋大賞決定！！

オススメ!



『水車小屋のネネ』
津村記久子（著）
毎日新聞出版



『成瀬は天下を
取りに行く』
宮島未奈（著）
新潮社



『存在のすべてを』
塩田武士（著）
朝日新聞出版

本屋大賞とは・・・

全国の書店員さんが、売れる本を作っていく、出版業界に新しい流れをつくる、ひいては出版業界を現場から盛り上げていこうと考え、発案した賞です。

過去一年の間、書店員自身が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票します。

『成瀬は天下を取りに行く』は図書室にあります。
気になった方は、見に来てくださいね。